

沖縄労働局発表

令和2年10月2日

担当	沖縄労働局労働基準部 健康安全課 課長 並里 智浩 労働衛生専門官 比嘉 豊 電話:098 (868) 4402
----	---

業務上疾病のうち「腰痛」が約5割を占める

～令和元年の沖縄県における業務上疾病の発生状況～

沖縄労働局(局長 福味 恵)は、令和元年の業務上疾病 発生状況を取りまとめましたので公表します。

負傷に起因する疾病(腰痛など)、物理的因子による疾病(熱中症など)、過重な業務による脳血管疾患・心臓疾患等などが該当します。(休業4日以上労働者死傷病報告に基づくもの。)

1. 業務上疾病の発生状況

- (1) 令和元年の業務上疾病者数は昨年を9人上回り109人となり、高止まりの状態が続いている。(図1 参照)。
- (2) そのうちの約5割(56人)が業務中に重い物を持ち上げる等の動作の反動などで発生する「災害性腰痛」で全体に占める割合が最も高く、特に介護・医療などの保健衛生業でも多く発生している。(図3 参照)。

2. 沖縄労働局における今後の取り組み

- (1) 当局HPに業種・業種別にまとめた労働災害防止対策をわかりやすく掲載しているので利用勧奨することによって労働災害の減少につなげていく。

URL : https://jsite.mhlw.go.jp/okinawa-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei_00006.html

- (2) 業務上疾病の約5割を占める腰痛について、腰痛アドバイザー事業の利用促進を図っていく。(参考資料)

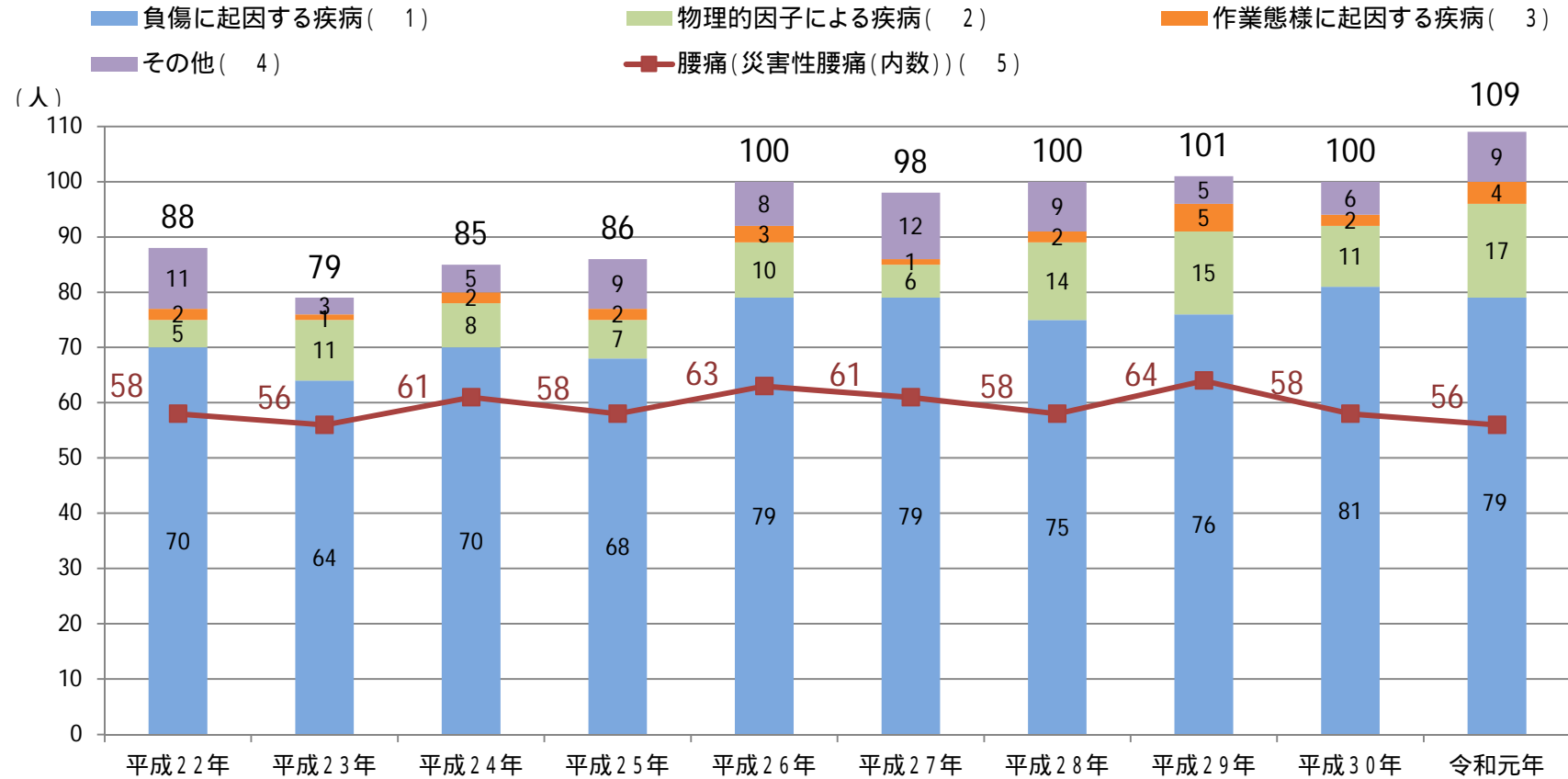
〔添付資料〕

- 図1 県内における業務上疾病発生状況の推移(平成22年～令和元年〔疾病別〕)
- 図2 県内における業務上疾病発生状況の推移(平成22年～令和元年〔業種別〕)
- 図3 県内における災害性腰痛発生状況の推移(平成22年～令和元年〔業種別〕)
- 表1 令和元年 業務上疾病発生状況(業種別疾病別)

〔参考資料〕

< 沖縄県内限定 > 「令和2年度版をご利用ください 腰痛予防アドバイザー」チラシ
 腰痛予防対策講習会(陸上貨物運送事業の衛生管理担当者向け、社会福祉施設及び医療業の事業者及び衛生管理担当者向け)のご案内
 熱中症を防ごう!

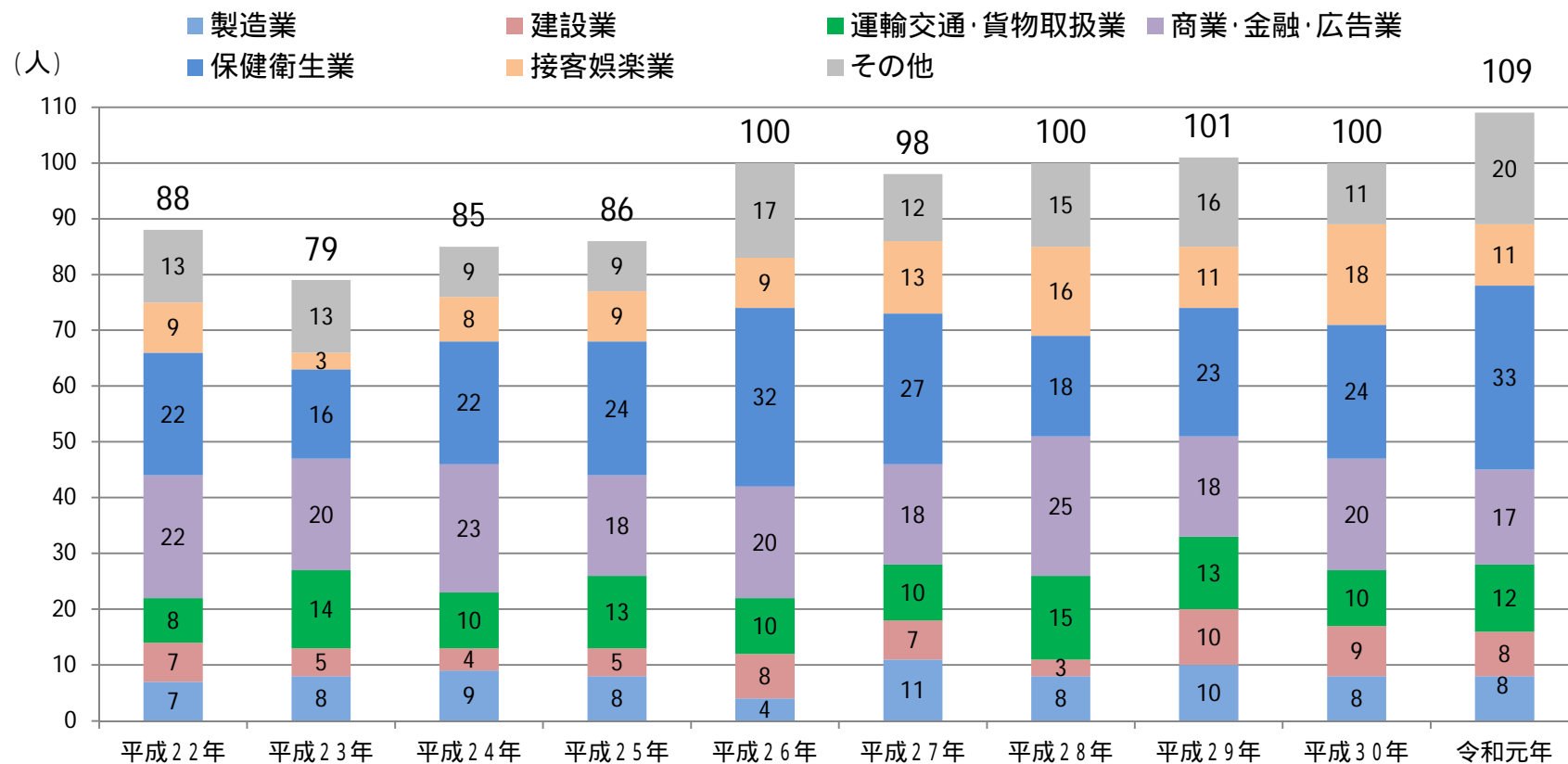
図1 県内における業務上疾病発生状況の推移(平成22年～令和元年(疾病別))



- (1) 「負傷に起因する疾病」には、「災害性腰痛」、「業務上の皮膚等の負傷による破傷風等の細菌感染症」などが含まれる。
- (2) 「物理的因子による疾病」には、「異常温度条件による疾病(熱中症等)」などが含まれる。
- (3) 「作業態様に起因する疾病」には、「重激業務による運動器疾患等」、「手指前腕の障害及び頸肩腕症候群」などが含まれる。
- (4) 「その他」には、主なものとして、「過重な業務による脳血管疾患・心臓疾患等」、「強い心理的負荷を伴う業務による精神障害」、「その他業務によることが明らかな疾病」などが含まれる。
- (5) 「災害性腰痛」とは業務中に重い物を持ち上げる等の動作の反動などで発生する(悪化する)腰痛。

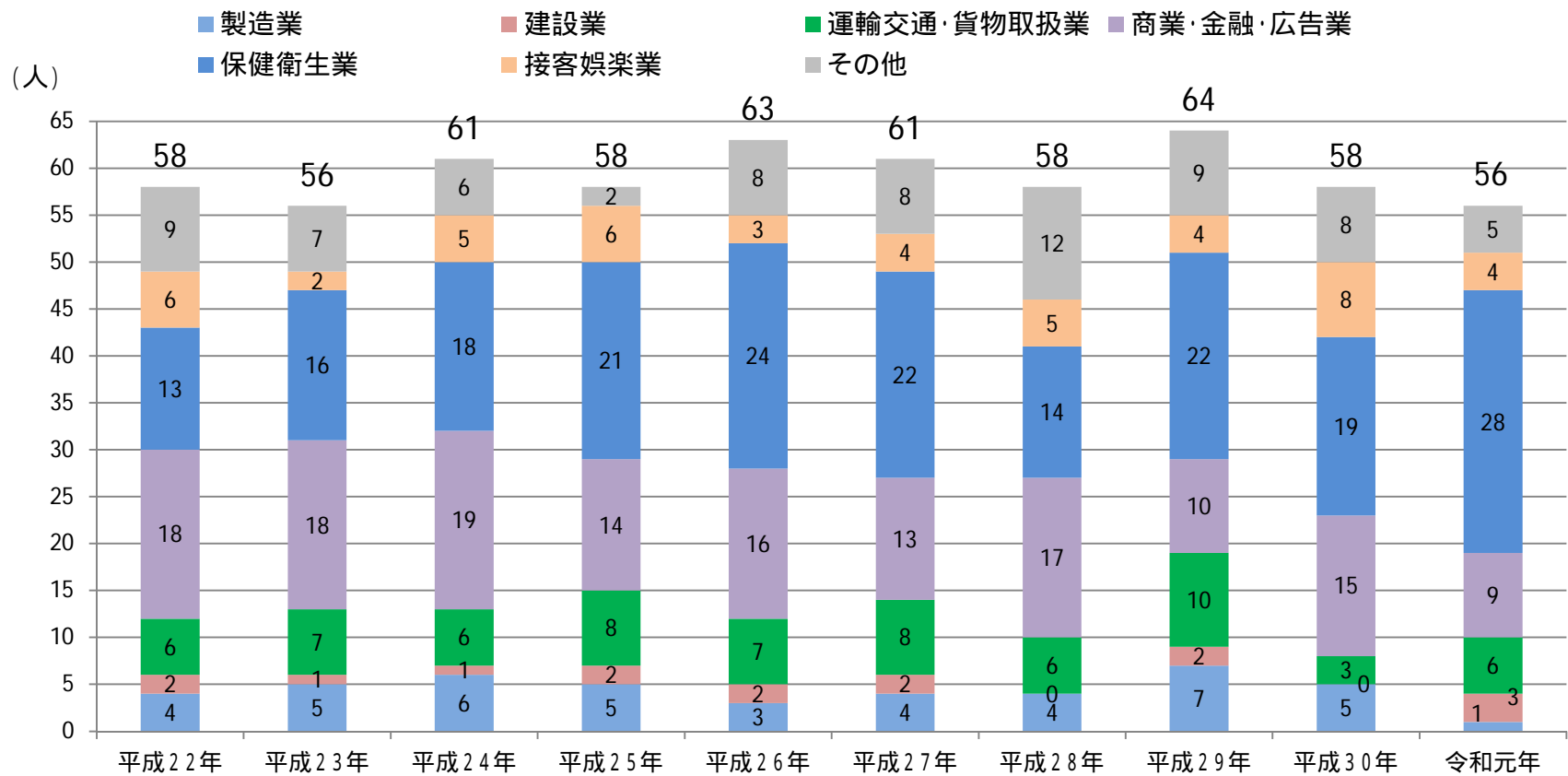
(資料出所) 沖縄労働局「業務上疾病調」

図2 県内における業務上疾病発生状況の推移(平成22年～令和元年(業種別))



(資料出所) 沖縄労働局「業務上疾病調」

図3 県内における災害性腰痛発生状況の推移(平成22年～令和元年(業種別))



(資料出所) 沖縄労働局「業務上疾病調」

表1 令和元年 業務上疾病発生状況（業種別疾病別）

単位：人

疾病分類 (1) 業種	負傷に起因する疾病		物理的因子に起因する疾病		作業態様に起因する疾病		化学物質による疾病 (がんを除く)	病原体による疾病	過重な業務による脳血管疾患・心臓疾患等	強い心理的負荷を伴う業務による精神障害	その他の業務上疾病 (3)	計
	災害性腰痛	災害性腰痛以外 (2)	異常温度条件による疾病	その他の原因による疾病	負傷によらない業務上の腰痛	その他の原因による疾病						
製造業	1	3	2	0	0	2	0	0	0	0	0	8
建設業	3	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8
運輸交通・貨物取扱業	6	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	12
商業・金融・広告業	9	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	17
保健衛生業	28	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	33
接客娯楽業	4	1	3	0	0	1	0	2	0	0	0	11
その他	5	7	6	0	0	0	0	0	1	0	1	20
計	56	23	14	3	1	3	0	7	1	0	1	109

(1) 疾病分類は労働基準法施行規則第35条によるものを整理したもの。

(2) 「災害性腰痛以外の負傷に起因する疾病」には、「業務上の皮膚等の負傷による破傷風等の細菌感染症」などが含まれる。

(3) 「その他の業務上疾病」には、「酸素欠乏症」、「じん肺及びじん肺合併症(休業のみ)」、「がん」、「その他の業務に起因することの明らかな疾病」が含まれる。

(資料出所) 沖縄労働局「業務上疾病調」

沖縄労働局からのお知らせ

無料

ご利用ください

R2年度

腰痛予防アドバイザー

「仕事で腰に負担がかかる」「職場の腰痛予防を進めたい」「でも、何から始めたらいいの?」とお悩みの事業者の皆様へ

腰痛予防のプロが、無料でお手伝いします。



メニュー

個別コンサルティング

アドバイザーが御社を訪問し、具体的なアドバイスを行います。
職員様向け研修も対応可能です。

対象

医療・介護事業所、運送業等

コンサルティング時間

2時間程度



セミナー（講師派遣）

事業者団体様などが主催されるセミナーへの講師派遣です。

対象

主に医療・介護関係、運送業団体

(その他の業種団体の方もご要望により可能な限り対応いたします。)

講演時間

2時間以内

お申込み

お申込み先・お問合せ

裏面のご利用申込用紙

にてお願いします

沖縄労働局健康安全課 (担当 比嘉)

098-868-4402 FAX 098-862-6793

腰痛予防アドバイザーご利用申込書

沖縄労働局健康安全課(FAX：098-862-6793) 担当 比嘉 行

(所在地) 〒900-0006 那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎1号館3階

御社・団体名			
ご連絡先	(内線)		
	Mail :	FAX	
	ご担当者様		
ご所在地	〒		
申込内容	個別コンサルティング ・ アドバイザーが御社を訪問し、具体的なアドバイスを行います。 ・ 職員様向け研修 も対応可能です(時間帯もご相談ください)。		
	(注1 使用する資料はお客様にて必要数を印刷いただきます(事前に郵送します)。 注2 パワーポインターが使用できるPC・プロジェクターをご用意いただくと実施が効果的です。 注3 効果的な実施のために最低1時間をご検討ください。)	希 望 日 時	令和 年 月 (上・中・下) 旬
	希 望 内 容 (お困りごとなど)		
	セミナー(講師派遣) ・ 事業者団体様などが主催されるセミナーへの講師派遣です。		
	希 望 日 時	令和 年 月 (上・中・下) 旬	
	セ ミ ナ - 名 称		
	参 加 対 象 者		
	会 所 在 地		
	講 演 時 間		
	希 望 内 容		

- 1 個別コンサルティング、セミナーの日時につきましては、なるべく希望日時にそった形で調整させていただきます。
- 2 個別コンサルティングは1事業所につき1回までとさせていただきます。
- 3 予算上限その他の理由で、場合によっては、お申込みにお応えできないこともあります。予めご了承ください。
- 4 最寄りの労働基準監督署でもお申込・お問合せを承ります。

那覇労働基準監督署	安全衛生課	098-868-3344	FAX 098-868-1390
沖縄労働基準監督署	安全衛生課	098-982-1263	FAX 098-939-3193
名護労働基準監督署	監督・安衛課	0980-52-2691	FAX 0980-53-2304
宮古労働基準監督署	労災・安衛課	0980-72-2303	FAX 0980-72-1846
八重山労働基準監督署	労災・安衛課	0980-82-2344	FAX 0980-82-9445

腰痛予防対策講習会



【腰痛】 第三次産業における
職業性疾病の7割を占めます。

今後、社会的役割の拡大が見込まれる陸上貨物運送事業の現場において腰痛予防対策が重要な課題となっています。そこで「職場における腰痛予防対策指針」の普及促進を目的とした無料の講習会を、陸上貨物運送事業を対象に全国16箇所で開催いたします。腰痛予防に役立つ知識やスキルの習得に是非ご活用ください。

予防は治療に勝ります

対象

陸上貨物運送事業の事業場の事業者及び衛生管理担当者向け

13:30～ 受付開始

14:00 開講

16:00 終了

内容

腰痛予防対策指針をイラスト等によりわかりやすく解説した陸上貨物運送業事業者向けのテキストを使用します。

- 腰痛の発生状況、腰痛の影響要因、対策のための体制づくり
- 厚生労働省や関係団体が行う支援事業や助成金の紹介
- 荷姿の改善、荷の重量の明示など
- 人力による重量物の取り扱いの際の重量制限、作業実施体制など
- 車両運転などの作業における留意
- 労働者の身体負担を軽減する機械の紹介
- リスクアセスメント及び労働安全衛生マネジメントシステムの活用
- 腰痛を起こしにくい作業動作、腰痛予防体操（実技）

※講習内容は予告無く変更される場合があります

お申し込み方法

Webから

1 「平プロモート」で検索。HP内「腰痛予防対策講習会」リンクへ。

平プロモート

検索

<https://seminar.tairapromote.co.jp/yotsu-yobo>

2 腰痛予防対策講習会「残席確認・オンライン申込み」より各対象講習へお申込みください。

3 申込後、メール（受講票）が自動返信されますのでご確認ください。



QRコードからも
アクセスできます

FAXから

1 裏面の参加申込書へ必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号へ送信してください。

2 申込み手続き完了後、ご記入いただいたFAX番号宛てに受付完了通知をお送りいたします。

FAX

050-3397-6564

参加申込書 兼 受講票

開催日	令和2年 月 日 ()	開催地	都・道・府・県
講習会名	陸上貨物運送事業における事業場の事業者及び衛生管理担当者向け 14:00～16:00 (受付開始 13:30～)		
フリガナ		法人/個人	法人 ・ 個人
氏名			
会社名/法人名			
住所	〒 -		
	TEL : ()	FAX : ()	
メールアドレス	@		

- 申込み手続き完了後、ご記入いただいたFAX番号宛てに受付完了通知をお送りいたします。
- 本申込書が受講票となりますので、当日ご持参ください。

日程・会場

山形	9月 9日(水)	ヤマコーホール 7階 大ホール 山形市香澄町3丁目2-1	神奈川	11月 5日(木)	ラジオ日本クリエイティブ事務局 3階 A+B会議室 横浜市中区長者町5丁目85 三共横浜ビル3階
北海道	9月24日(木)	札幌市教育文化会館 3階 研修室305 札幌市中央区北1条西13丁目	京都	11月10日(火)	メルパルク京都 6階 宴会会議場D【鞍馬】 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676-13
鹿児島	10月 1日(木)	サンプラザ天文館 6階 ホール 鹿児島市東千石町2丁目30	兵庫	11月13日(金)	健康ライフプラザ 5階 ノーリフトラボ 神戸市兵庫区駅南通5丁目1-2-300
岡山	10月 6日(火)	株式会社コープP&S オルガビル B1階 オルガホール 岡山市北区奉還町1丁目7-7	愛知	11月17日(火)	名古屋国際会議場 2号館 3階 234会議室 名古屋市熱田区熱田西町1-1
新潟	10月 8日(木)	新潟テルサ 3階 大会議室 新潟市中央区鐘木185-18	大阪	11月19日(木)	エル・おおさか 南館 10階 南1023号室 大阪市中央区北浜東3-14
埼玉	10月13日(火)	JA共済埼玉ビル 3階 大会議室 さいたま市大宮区土手町1丁目2	東京	11月24日(火)	日本教育会館 7階 中会議室 東京都千代田区一ツ橋2丁目6-2
群馬	10月20日(火)	ビエント高崎 本館 6階 602号室 高崎市間屋町2丁目7	千葉	11月25日(水)	TKPガーデンシティ千葉 4階 コンチェルトA 千葉市中央区間屋町1-45 千葉ポートスクエア内
福岡	10月28日(水)	都久志会館 4階 401～404会議室 福岡市中央区天神4丁目8-10	静岡	11月27日(金)	パルシェ 7階 第1～3会議室 静岡市葵区黒金町49

注意事項

- 各会場とも先着順でお申し込みを受け付け、定員(会場収容人数の半分以下)に達し次第締め切りいたします。(各会場異なるため、残席数はWebサイトにてご確認ください)
- Webからお申し込みされた場合、受付完了後に自動で返信メールをお送りいたします。返信メールの内容がそのまま受講票となりますので、開催日当日に返信メールを印刷、またはスマートフォンなどでメール画面を受付にてご提示ください。
- FAXからお申し込みされた場合、申込受付後、FAXにて受付完了通知をお送りいたします。申込書が受講票となりますので、当日ご持参ください。
- お申し込みの際は、必ず受講される方の名義でお願いいたします。また、同一名義でのご予約は一席のみとなりますのでご注意ください。
- お申し込み時にご記入いただいた個人情報につきましては、株式会社平プロモートの個人情報保護に関する基本方針に基づき、安全かつ適正に管理いたします。また、本講習会に必要な一連の業務以外に使用することはありません。
- 講義の録音・録画・撮影等はご遠慮いただきますようお願いいたします。
- 講習会終了後、1～3か月以内に腰痛予防対策講習会参加後の取組状況を把握するための「フォローアップアンケート」をお送りいたしますので、ご協力をお願いいたします。
- お申し込みをキャンセルされる場合は、申込みフォームよりキャンセルのお手続きをお願いいたします。(FAXからお申込みされた方は、下記「お問い合わせ先」までご連絡ください。)
- 台風や災害等の影響により講習会を延期する場合がありますのでご了承ください。

※新型コロナウイルス感染症に関する注意事項

- 受講の際には必ずマスクを着用していただき、発熱・咳等の症状が見られる場合には、参加を控えていただきますようお願いいたします。
- 状況により講習会を見合わせる場合がありますのでご了承ください。最新情報および詳細は弊社ホームページに随時掲載いたしますので、ご確認くださいませようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社 平プロモート 腰痛予防対策講習会
〒471-0867 愛知県豊田市長盤町1-88 事務局

TEL : 050-3532-9119 / FAX : 050-3397-6564
mail : yotsu-yobo@tairapromote.co.jp

運営協力 ● 日本ノーリフト協会 日本労働安全衛生コンサルタント会 中央労働災害防止協会 陸上貨物運送事業労働災害防止協会

腰痛予防対策講習会



【腰痛】 第三次産業における
職業性疾病の7割を占めます。

今後、社会的役割の拡大が見込まれる保健衛生業の現場において腰痛予防対策が重要な課題となっています。そこで「職場における腰痛予防対策指針」の普及促進を目的とした無料の講習会を、保健衛生業を対象に全国16箇所で開催いたします。腰痛予防に役立つ知識やスキルの習得に是非ご活用ください。

予防は治療に勝ります

対象

社会福祉施設及び医療保健業の事業場の事業者及び衛生管理担当者向け

9:40～ 受付開始

10:10 開講

12:30 終了

内容

腰痛予防対策指針をイラスト等によりわかりやすく解説した保健衛生業事業者向けのテキストを使用します。

講義

- 腰痛の発生状況、腰痛の影響要因、対策のための体制づくり
- 労働災害発生のメカニズムと災害防止の取組み
- 作業空間、床面等の作業環境の改善
- 腰痛予防対策チェックリスト、リスクアセスメントの活用
- 腰痛予防に資する助成金と制度の紹介

実技

- 作業姿勢と腰部の負担が特に大きくなる作業別のポイント
- 腰痛予防体操
- 介護福祉機器を用いて腰部の負担を軽くする作業のポイント解説
- 介護・看護作業の場面を想定した介護福祉機器の使い方の体験
- 腰痛を起こしにくい作業姿勢の確認（機器使用時も腰痛予防する作業姿勢を含む）

※講習内容は予告無く変更される場合があります

お申し込み方法

Webから

1 「平プロモート」で検索。HP内「腰痛予防対策講習会」リンクへ。

平プロモート

検索

<https://seminar.tairapromote.co.jp/yotsu-yobo>

2 腰痛予防対策講習会「残席確認・オンライン申込み」より各対象講習へお申込みください。

3 申込後、メール（受講票）が自動返信されますのでご確認ください。



QRコードからも
アクセスできます

FAXから

1 裏面の参加申込書へ必要事項をご記入のうえ、下記FAX番号へ送信してください。

2 申込み手続き完了後、ご記入いただいたFAX番号宛てに受付完了通知をお送りいたします。

FAX

050-3397-6564

参加申込書 兼 受講票

開催日	令和2年 月 日 ()	開催地	都・道・府・県
講習会名	社会福祉施設及び医療保健業の事業場の事業者及び衛生管理担当者向け 10:10~12:30 (受付開始 9:40~)		
フリガナ		法人/個人	法人 ・ 個人
氏名			
会社名/法人名			
住所	〒 -		
	TEL : ()	FAX : ()	
メールアドレス	@		

- 申込み手続き完了後、ご記入いただいたFAX番号宛てに受付完了通知をお送りいたします。
- 本申込書が受講票となりますので、当日ご持参ください。

日程・会場

山形	9月9日(水)	ヤマコーホール 7階 大ホール 山形市香澄町3丁目2-1	神奈川	11月5日(木)	ラジオ日本クリエイティブ事務局 3階 A+B会議室 横浜市中区長者町5丁目85 三共横浜ビル3階
北海道	9月24日(木)	札幌市教育文化会館 3階 研修室305 札幌市中央区北1条西13丁目	京都	11月10日(火)	メルパルク京都 6階 宴会会議場D【鞍馬】 京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町676-13
鹿児島	10月1日(木)	サンプラザ天文館 6階 ホール 鹿児島市東千石町2丁目30	兵庫	11月13日(金)	健康ライフプラザ 5階 ノーリフトラボ 神戸市兵庫区駅南通5丁目1-2-300
岡山	10月6日(火)	株式会社コープP&S オルガビル B1階 オルガホール 岡山市北区奉還町1丁目7-7	愛知	11月17日(火)	名古屋国際会議場 2号館 3階 234会議室 名古屋市熱田区熱田西町1-1
新潟	10月8日(木)	新潟テルサ 3階 大会議室 新潟市中央区鐘木185-18	大阪	11月19日(木)	エル・おおさか 南館 10階 南1023号室 大阪市中央区北浜東3-14
埼玉	10月13日(火)	JA共済埼玉ビル 3階 大会議室 さいたま市大宮区土手町1丁目2	東京	11月24日(火)	日本教育会館 7階 中会議室 東京都千代田区一ツ橋2丁目6-2
群馬	10月20日(火)	ビエント高崎 本館 6階 602号室 高崎市問屋町2丁目7	千葉	11月25日(水)	TKPガーデンシティ千葉 4階 コンチェルトA 千葉市中央区問屋町1-45 千葉ポートスクエア内
福岡	10月28日(水)	都久志会館 4階 401~404会議室 福岡市中央区天神4丁目8-10	静岡	11月27日(金)	パルシェ 7階 第1~3会議室 静岡市葵区黒金町49

注意事項

- 各会場とも先着順でお申し込みを受け付け、定員(会場収容人数の半分以下)に達し次第締め切りいたします。(各会場異なるため、残席数はWebサイトにてご確認ください)
- Webからお申し込みされた場合、受付完了後に自動で返信メールをお送りいたします。返信メールの内容がそのまま受講票となりますので、開催日当日に返信メールを印刷、またはスマートフォンなどでメール画面を受付にてご提示ください。
- FAXからお申し込みされた場合、申込受付後、FAXにて受付完了通知をお送りいたします。申込書が受講票となりますので、当日ご持参ください。
- お申し込みの際は、必ず受講される方の名義でお願いいたします。また、同一名義でのご予約は一席のみとなりますのでご注意ください。
- お申し込み時にご記入いただいた個人情報につきましては、株式会社平プロモートの個人情報保護に関する基本方針に基づき、安全かつ適正に管理いたします。また、本講習会に必要な一連の業務以外に使用することはありません。
- 講義の録音・録画・撮影等はご遠慮いただきますようお願いいたします。
- 講習会終了後、1~3か月以内に腰痛予防対策講習会参加後の取組状況を把握するための「フォローアップアンケート」をお送りいたしますので、ご協力をお願いいたします。
- お申し込みをキャンセルされる場合は、申込みフォームよりキャンセルのお手続きをお願いいたします。(FAXからお申込みされた方は、下記「お問い合わせ先」までご連絡ください。)
- 台風や災害等の影響により講習会を延期する場合がありますのでご了承ください。

※新型コロナウイルス感染症に関する注意事項

- 受講の際には必ずマスクを着用していただき、発熱・咳等の症状が見られる場合には、参加を控えていただきますようお願いいたします。
- 状況により講習会を見合わせる場合がありますのでご了承ください。最新情報および詳細は弊社ホームページに随時掲載いたしますので、ご確認ください。

お問い合わせ先

株式会社平プロモート 腰痛予防対策講習会事務局
〒471-0867 愛知県豊田市長盤町1-88

TEL : 050-3532-9119 / FAX : 050-3397-6564
mail : yotsu-yobo@tairapromote.co.jp

運営協力 ● 日本ノーリフト協会 日本労働安全衛生コンサルタント会 中央労働災害防止協会 陸上貨物運送事業労働災害防止協会

熱中症予防 × コロナ感染防止で 「新しい生活様式」を健康に!

「新しい生活様式」とは：新型コロナウイルス感染防止の3つの基本である ①身体的距離の確保
②マスクの着用 ③手洗いの実施や「3密(密集、密接、密閉)」を避ける、等を取り入れた日常生活のこと。

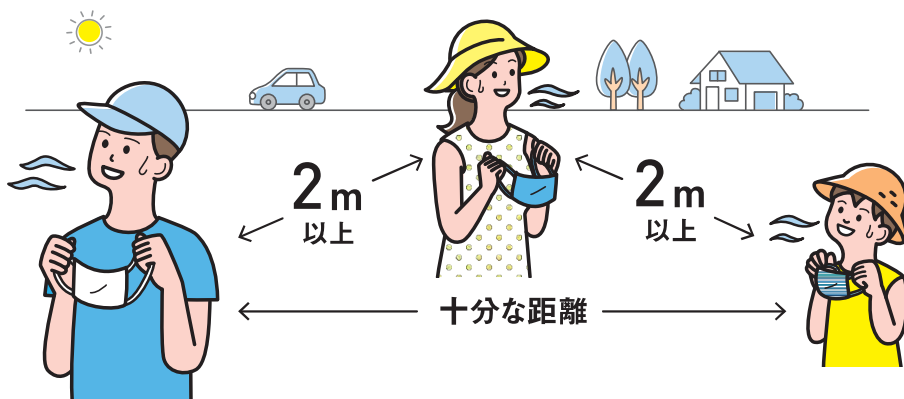
注意 マスク着用により、熱中症のリスクが高まります

マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかぬうちに脱水になるなど、体温調節がしづらくなってしまいます。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。



熱中症を防ぐために マスクをはずしましょう

ウイルス
感染対策は
忘れずに!



屋外で

人と2m以上

(十分な距離)

離れている時

マスクをしてると
熱中症になりそう...

..... (マスク着用時は)



激しい運動は避けましょう

のどが渇いていなくても
こまめに水分補給をしましょう



気温・湿度が高い時は

特に注意しましょう



暑さを避けましょう

- ・涼しい服装、日傘や帽子
- ・少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ移動
- ・涼しい室内に入れなければ、外でも日陰へ

のどが渇いていなくても こまめに水分補給をしましょう

- ・1日あたり **1.2L (1.2リットル)** を目安に
- 1時間ごとに コップ1杯
- 入浴前後や起床後も まず水分補給を
- ペットボトル 500mL 2.5本
- コップ約6杯

- ・大量に汗をかいた時は **塩分** も忘れずに

エアコン使用中も こまめに換気をしましょう

(エアコンを止める必要はありません)

注意 一般的な家庭用エアコンは、室内の空気を循環させるだけで、換気は行っていません

- ・窓とドアなど **2か所** を開ける
- ・扇風機や換気扇を併用する
- ・換気後は、エアコンの温度を **こまめに再設定**

暑さに備えた体づくりと 日頃から体調管理をしましょう

- ・暑さに備え、暑くなり始めの時期から、無理のない範囲で **適度に運動** (「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で **毎日30分程度**)

水分補給は忘れずに!

- ・毎朝など、**定時の体温測定** と **健康チェック**
- ・体調が悪い時は、無理せず **自宅で静養**

知っておきたい 熱中症に関する大切なこと

熱中症による死亡者の数は **真夏日 (30℃) から増加**
35℃を超える日は特に注意!

運動は原則中止。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動してください。

■年齢別 / 熱中症死亡者の割合

15歳~44歳	2.5%	5歳~14歳	0.1%
45歳~64歳	15.6%	0歳~4歳	0.1%
65歳~79歳	33.7%	不詳	0.2%
80歳以上	47.8%		

出典: 「熱中症による死亡数 人口動態統計2018年」厚生労働省

熱中症による死亡者の **約8割が高齢者**

約半数が80歳以上ですが、若い世代も注意が必要です。

■年齢・発生場所別 / 熱中症患者の発生割合

年齢	発生場所	割合
65歳以上	屋内	約80%
	自宅	約70%
19~64歳	作業中	約60%
	公共施設	約10%
7~18歳	学校	約50%
	運動中	約10%
0~6歳	自宅	約50%

出典: 「救急搬送データから見る熱中症患者の増加」国立環境研究所 2009年

高齢者の熱中症は **半数以上が自宅で発生**

高齢者は自宅を涼しく、若い世代は屋外での作業中、運動中に注意が必要です。

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。
周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。